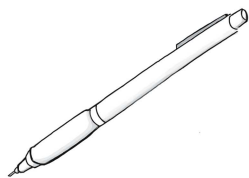




桜の如く

■村松桜中学校 学校だより■

令和7年10月24日発行 第7号



学力向上のための「授業力向上」

生徒の「学力向上」に教員の「授業力向上」は欠かせません。授業力を向上させる方法は、大きく分けて3つに分類できます。

「授業準備」：生徒の学力向上のためにどんな授業が有効かを考えて準備すること

「研究授業」：授業を他の職員に公開し、工夫や手立てについて意見交換すること

「研修会参加」：ICT活用や教授法などをテーマとした各種研修会に参加すること

先日、当校I.Y.教諭が研究授業を下越地区の初任者を対象に公開しました。授業の様子を紹介します。

9月30日（水）3年2組社会科授業「憲法が保障する基本的人権」

人権同士が対立する複数の事例を通して、本来尊重されるべき基本的人権が制限されるのがどんな場合かを考えました。

これまで学んだ基本的人権について振り返る機会になると同時に、ジグソー法と呼ばれる学習展開を工夫し、電子黒板等も活用するなど、初任者には学びの多い授業となりました。



学力向上のための「家庭学習の習慣化」



学力向上には「家庭学習の習慣化」も必要です。勉強方法がわからないという声も聞こえてきます。メンタリストDaiGo氏によれば、「本当に聞く勉強法には個人差などない」そうです。その著書から勉強法を紹介します。家庭学習の参考にしてください。

- 1 忘れた頃に復習する。復習のタイミングは、2日後、2週後、2ヶ月後
- 2 アヒルのおもちゃを相手に教えるつもりで話してみる。
(ラバーダック勉強法)
- 3 中途半端なところで止めて眠り、翌日続きから始める。
- 4 視覚、聴覚、運動感覚などフルに使う（マルチモーダル学習）
- 5 学習の成果を激しく下げるので、苦手意識をもたない。



※ 『超効率勉強法』メンタリストDaiGo著（学研）より実感したものを抜粋

2学期が始まりました。

村松桜中学校は2学期制を採用しているため、10月10日（金）に1学期を終了し、3連休を挟んで14日（火）から2学期がスタートしました。終業式、始業式での校長講話を紹介します。



地域の一大行事である「日枝神社秋季例大祭」が終了した。夏休み明けから2週間程度、地域の方から法被を飾っていただいた。10年後2、現在の中学生在が祭りを引っ張る存在にもなり得る。高校生や開校当時の生徒の参加が多かったことも一つの特徴だったという。

週末開催になったことで、参加しやすくなった人も多いと思う。来年以降も、そして卒業してからも気にとめて、可能ならば、参加することで地域に貢献してほしいと願う。地域で楽しむことが、何よりの地域貢献なのである。

「10年後のあなたはどんな思いで祭りに参加していると思いますか。」

「地域貢献は他にもやり方があると思います。どんなことができそうですか。」



赴任して早々に祭りの関係以外に、もう一組、校長室を訪れた団体がいる。それが、来月行われる村松地区のもう一つの大行事「ごせん紅葉マラソン」の関係者である。

ゲストラランナーとして参加してほしいとの要望を受け、その場でOKした。残念ながらこの日はテスト前日のため、皆さんの参加はかなり難しい。でも、この大会は大変評判が良く、多くの市民がボランティアで関わっている。そのことを覚えておいてほしい。やがて、ボランティアとして、あるいは選手として関わる日が来るかもしれない。大きなイベントが地元で開かれる意味をよく理解して、未来に備えて欲しい。

「あなたもいずれ紅葉マラソンに参加してみませんか。」

「他にどんなイベントがあれば、参加してみようと思いますか。」

【下越地区駅伝競走大会の結果】

22位 (S.R. Y.M. A.R. Y.T. T.K. T.T. M.T.)



※ 1, 2年生の若い力で襷をつなぎました。来年に期待がかかります。

地域の皆様、お世話になりました。



天候に恵まれた中、村松地区の大行事「日枝神社秋季例大祭」が終了しました。アンケートによれば、「祭りに参加した」(28.5%)、「祭りを見学した」(62.0%)という結果となり、9割強の生徒が祭りに関わったようです。地域への関心を広げ、将来はその担い手となるべくさらに工夫して参ります。

※ 創作部の皆さんにイラストを描いてもらいました。／個人名はイニシャル表記しています。